

2019年度 事業報告書

2019年 4月 1日から 2020年 3月31日まで

特定非営利活動法人VIVID

1 事業の成果

障がいがある人もない人も、お互いの人格と個性を尊重し、相互に助け合える社会を共につくっていくことを理念として、高次脳機能障がいに対する理解・支援をさらに発展、前進させることができた。

1. 「フレッシュスタート目白（以下フレスタ）」「相談支援VIVID」を事業の柱とし、二つの事業を連携することで、利用者の拡大が図れ、事業を充実することができた。
2. 会議体制の整備と、事務局体制の強化で、組織運営の強化をすすめることができた。
3. 講演会や企画・イベントに参加し、生活クラブ運動グループや他団体とのネットワークづくりがすすんだ。
4. フレスタの経営は、のべ利用者数の計画を達成できたこと、新宿区からの運営補助金を計画通り得ることができた結果、事業剰余を出すまでの大きな成果をあげることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
高次脳機能障がいに関する調査・研究事業	TKKよりアンケート集計作業を受託し、報告書を作成した。 ・港区高次脳機能障害 講演会・高次脳機能障害者 実践的アプローチ講習会・リハビリテーション講習会 高次脳機能障害者の回復を促す	年間	都内	12人/年	都民	60
高次脳機能障がいに関する理解の普及啓発事業	融資や助成を受けている団体などの報告集会、関連団体からの講演依頼等に応じ、高次脳機能障がいの普及啓発に貢献することができた。	年間	都内	24人/年	都民	15
高次脳機能障がい者支援事業	年間相談件数はのべ182、内新規は51。電話相談が115、メール等8。内容は、就労68、福祉サービス利用44、障害理解41、医療27、経済12。一人の相談者による重複した相談が多く、悩みの複雑さが浮き彫りになった。	年間	事業所他	36人/年	182人	3,668
	第2、第4土曜を原則に、年間22回のミニデイサービスを実施した。プログラムは、「リーディング劇」「音楽」「調理」。後半に新規3人参加。1回当たりの平均利用者数は11.2人、内新宿区民は5.5人。3月の発表会は、コロナ感染防止対策のため、開催を延期した。	年22回	新宿区内公共施設及び関連施設	6人/月	246人	
	7月及び11月と2回、開催した。対象は、一般区民・当事者家族・専門職・支援者。参加者数は、7月60人、11月74人。	年2回		12人/年	134人	
障害者総合支援法に基づくサービス事業	期首利用者数 15人 期末利用者数17人。新規利用3人、途中終了1人。相談支援員1人を増員し、利用者4人を担当した。	火曜～金曜 9:00～ 13:00	事業所他	2人/月	15人	590
	年間のべ利用者数3,570人、登録人数24人、内高次脳機能障がいがある人19人。「月毎の皆勤手当」を廃止し、「出勤日手当」を創設。基本報酬の算定区分での平均工賃月額は25,227円で、区分が1ランク上がった。	月曜～金曜 10:00～ 16:00	事業所	5.5人/日	19人	37,752

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数	事業費の金額(千円)
無し						